学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

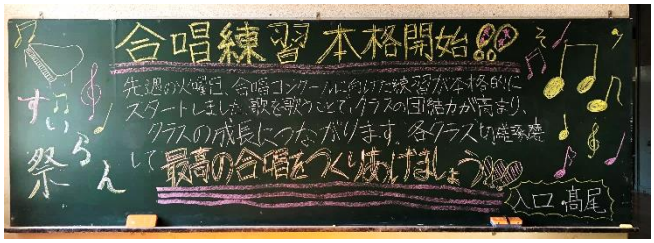
学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１７号
令和５年９月２１日発行
文責：校長・副校長

合唱コンクール練習本格開始！！

１０月１３日（金）に開催される「すいらん祭（合唱コンクール）」の本格的な学級練習がスタートしました。職員室まで練習する歌声が聞こえてくるのは多分３年生の声。まだまだ、未完成ですが、歌声が響く昼休みは、みんなで一つのことを頑張っている様子が伺え、ほほえましく感じます。始まったばかりの練習ですが、音楽科の先生を中心に、担任の先生や副担の先生も総出で練習に取り組んでいます。

体育大会に続き、すいらん祭は学級が団結して取り組む大きな行事です。中学校生活の中で大切な思い出となる行事の一つになりますが、中学生の底知れぬ可能性を垣間見ることができるとても楽しみな行事です。



【生徒会黒板の気合の入ったメッセージ】

実行委員を中心に練習し、みんなで心を一つに歌うことができ、聴く人の心を揺さぶる合唱が当日聴けることを楽しみにしています。

練習の様子は、次号に載せたいと思います。

防犯ポスター表彰

７月１３日（木）校長室で、時津警察署から制作依頼があった防犯ポスター表彰が行われました。美術部の皆さんが応募し、３年生の陣川優衣さんと２年生の井上智恵莉さんが代表で感謝状を受け取りました。この作品は、長与のイオンタウンと、琴海のマックスバリューに飾られています。さすが美術部制作とあって、とても素晴らしい作品となっていますので休みの日など、足を運び、見ていただければ幸いです。

科学の甲子園ジュニア開催

９月１６日（土）に開催された、科学の甲子園ジュニアに１年生の生田蒼さん、出田康晟さん、山下竜太朗さん、入口多紀さん、田嶋祐さん、山本瑛恋さんの６名が参加しました。

科学の甲子園ジュニアは、理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材の育成に資することを目的として行われています。

参加校は、県立中学校、附属中学校、青雲中学校と公立中学校では時津中だけの参加でした。

内容は、筆記競技及び実技競技により、行われ、筆記競技は、理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連等に配慮した問題が出題され、既習の知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容となっています。

実技競技は、ものづくり能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を問う問題で競いあいます。

競技は、チーム全員（６名）で話し合いながら、協力して解答・解決するもので、時津中学校は、１年生ながら超難問に挑戦し、６人の知恵を総結集させて最後まで努力しました。

とても面白かったらしく、良い経験となったようです。来年も参加したいとのことですので、来年はさらに良い結果が残せるよう頑張ってほしいですね。